



# 承認図

---

## 音声データ集中管理システム VR-800CES 13RR

本仕様はアプリケーション Ver.3.1.0.3 以降に準じています。



# 仕様書

---

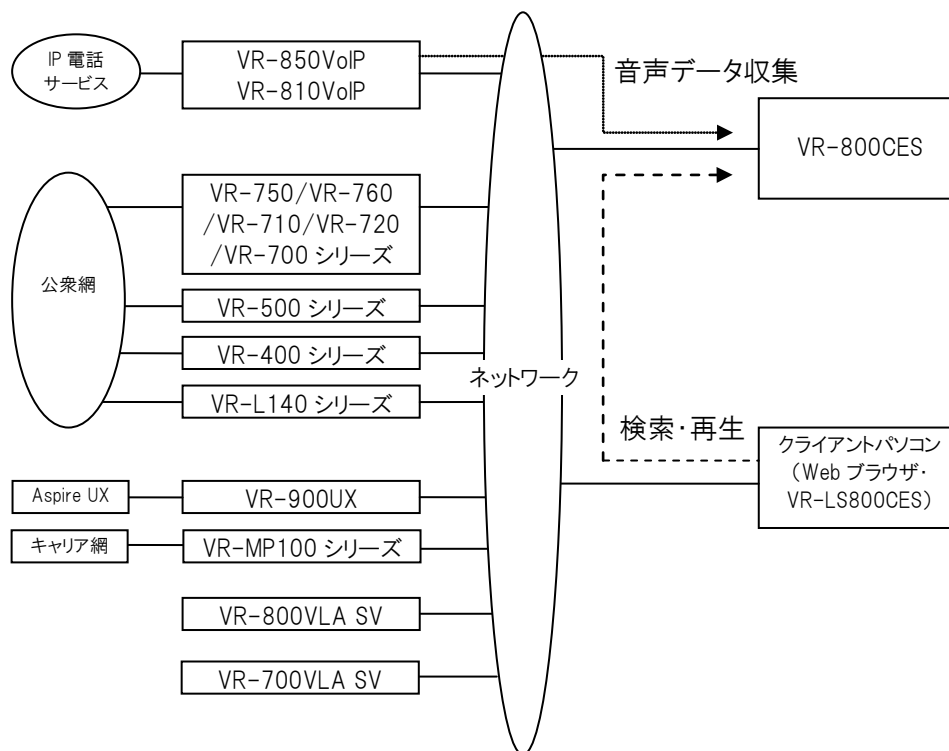
## 音声データ集中管理システム VR-800CES 13RR

本仕様はアプリケーション Ver.3.1.0.3 以降に準じています。

## 商品概要

VR-800CES 13RR(以下、本装置といいます)は、通話録音装置(注)で録音された音声データや、通話録音サーバVR-800VLA SV/VR-700VLA SV で収集した音声データを、ネットワーク経由で収集し集中管理することができる装置です。本装置の形状はラックマウント型で、保存時間は最大約13万時間です。本装置に収集された音声データは、同一ネットワーク上に接続されたクライアントパソコンから録音内容を各種の条件で検索して再生することができます。システム構成の例を下図に示します。

(注)当社の通話録音装置には、VR-800VoIP/VR-750/VR-760/VR-710/VR-720/VR-700/VR-500/VR-400/VR-L140/VR-MP100 シリーズ、および VR-900UX の各装置があります。



## 主な機能

### 収集対象の通話録音装置

本装置が音声データを収集する通話録音装置は次の各装置です。

- ・VR-800VoIP/VR-750/VR-760/VR-710/VR-720/VR-700/VR-500/VR-400/VR-L140/VR-MP100シリーズ、およびVR-900UX
- ・通話録音サーバVR-800VLA SV/VR-700VLA SV

通話録音装置の接続数は、最大で500台まで登録ができます。

なお「通話録音サーバソフト VR-800VLA/VR-800VLA L/VR-700VLA」をインストールしたパソコンは、本装置での収集対象装置とはなりません。

### 検索・再生

音声データは、同一ネットワーク上に接続されたクライアントパソコンで検索・再生することができます。検索・再生の手段として、①Web ブラウザと②LAN 再生ソフト VR-LS800CES があります。（※利用できる検索キーは、収集対象の通話録音装置の仕様や接続条件により制限があります。）

#### (1) Web ブラウザ VR-800CES web voice player

Web ブラウザから本装置にアクセスして「シンプル入力」「詳細入力」の2通りで検索・再生することができます。

・「シンプル入力」検索項目

- ①電話番号グループ ②通話録音装置 ③発信/着信 ④日時 ⑤電話番号 ⑥相手番号 ⑦表示名等

・「詳細入力」検索項目

- ①電話番号グループ ②通話録音装置 ③発信/着信 ④日時 ⑤電話番号 ⑥相手番号 ⑦オペレータ ID  
⑧内線番号 ⑨表示名 ⑩通話時間 ⑪再生フラグ ⑫分類 ⑬メモ ⑭内線名 ⑮オペレータ名  
⑯グループ ID ⑰その他

#### (2) LAN 再生ソフト VR-LS800CES

LAN 再生ソフト VR-LS800CES をインストールしたクライアントパソコンから本装置にアクセスして検索・再生することができます。検索項目は、Web ブラウザの「詳細入力」と同様です。またバックアップメディアの再生も行うことができます。音声データは、同一ネットワーク上に接続されたクライアントパソコンにインストールした「LAN 再生ソフト VR-LS800CES」で次の項目をキーにして、検索・再生することができます。複数のキーを組み合わせることも可能です。

- ①通話録音装置/電話番号グループ ②日時 ③発着信 ④表示名 ⑤担当者 ⑥自番号 ⑦自サブアドレス  
⑧相手番号 ⑨DTMF 信号 ⑩通話時間 ⑪再生フラグ ⑫メモ ⑬分類 ⑭オペレータ ID ⑮オペレータ名・  
内線名 ⑯内線番号 ⑰オペレータグループ ID

※音声データの検索・再生には、本装置に保存されているインデックスを参照します。本装置にインデックスが保存されていないと検索・再生できません。

※本装置とクライアントパソコンはネットワーク接続されている必要があります。

## 音声データの収集

録音内容(音声)とインデックス(録音日時や発着情報などの録音情報)で構成されている音声データは、収集する曜日と開始時刻・終了時刻を指定して収集することができます。指定した時間帯以外はデータ収集を行いませんので、日常業務に影響がない時間帯を指定して音声データの収集を行うことができます。収集時刻は最大7つ登録できます。また録音内容とは別にインデックスのみを収集する時間帯を指定することができます。

## 音声データの保存時間※

本装置のハードディスクには、約13万時間分の音声データを保存できます。約13万時間を超えた場合は古い音声データから消去され、常に最新の約13万時間分がハードディスクに残ります。

※保存時間はVR-400シリーズの録音、VR-500シリーズのモノラル録音、VR-800VoIP/VR-750/VR-760/VR-710/VR-720/VR-700/VR-L140/VR-MP100シリーズ、およびVR-900UXの標準モノラル録音を保存した場合の算出時間になります。

## バックアップ

収集した音声データは、RDXカートリッジにバックアップ保存することができます。バックアップ方法は次のとおりです。

### 〈バックアップ方法〉

#### ・自動バックアップ

定時：毎日設定した時刻にバックアップをします。

間隔：一定時間間隔でバックアップをします。

#### ・手動バックアップ

手動操作でバックアップをします。

### 〈使用方法〉

・ミラーリング：2つのドライブに同じ内容をバックアップします。

・順次：1つ目のドライブが満杯になると、2つ目のドライブにバックアップします。(最大3台)

・順次+ミラーリング：ミラーリング設定した2つのドライブに順次バックアップします。

(4台以上のバックアップドライブが必要となります)

### 〈グループ別のバックアップ〉

・あらかじめ複数の通話録音装置をグループに分け、グループ別にバックアップします。

(最大5グループ、グループ数分のバックアップドライブが必要です。)

※RDXカートリッジにバックアップされた音声ファイルは、本装置では再生できません。バックアップメディアの再生は、クライアントパソコン(LAN再生ソフトVR-LS800CES)で本装置にログインして行います。この場合クライアントパソコンには外付けのRDXドライブ(別売品)が必要です。

## アラーム機能

### 〈アラームメール通知〉

本装置が次の状態になったときに、指定したアドレスにメール通知することができます。メール通報先は最大 5 か所まで登録できます。

- ・監視対象の通話録音装置のバックアップメディアが満杯状態になったとき
- ・本装置との接続やシステムが異常状態になったとき
- ・本装置の RDX バックアップメディア満杯状態やシステム異常になったとき

### 〈状態報告メール通知〉

上記アラーム状態の情報を毎日定時に状態報告として指定したアドレスにメール通知することができます。メール通報先は〈アラームメール通知〉と同様の通報先です。(最大 5 か所)

### 〈システム監視ソフト VR-AL800CL〉

本装置や通話録音装置のアラーム発生時には、システム監視ソフトをインストールしたクライアントパソコンにて、本装置からのアラームを受信することができます。通知クライアント数は 10 台まで登録できます。また、このクライアントパソコンから本装置との接続が確認できない場合の『アラーム通知』および本装置と同様の『状態報告』を指定したアドレスにメール通知できます。通知先は 5 か所まで登録できます。

## セキュリティ

本装置の登録設定操作、および本装置に接続しての検索・再生操作に制限を設けることができます。ID・パスワードを知らない人は本装置の登録設定、検索・再生操作をすることができません。

本装置で収集対象とする通話録音装置に登録されている情報(契約者回線番号・自番号・表示名など)をグループ化して操作権限を付与することもできます。

ユーザーは最大 500 人、電話番号情報は最大 6000 件、電話番号グループは最大 300 まで登録できます。

## パスワードポリシー

上記セキュリティ機能にパスワードポリシー設定をすることができます。

- ・パスワード変更許可 :ユーザーによるパスワードの変更の許可。(初期値「許可しない」)
- ・パスワードの長さ :パスワード設定時に必要な最低文字数(1~14 文字)を設定。(初期値 1 文字)
- ・パスワード要件 :パスワード使用文字を英大文字、英小文字、数字、記号の中から 3 種以上に設定。  
(初期値「設定しない」)

## 音声データの自動削除

録音内容およびインデックスは、一定期間経過後、自動的に削除することができます。期間は録音後 1 日から 4000 日が選択できます。

## 時刻修正

NTP サーバによる時刻修正ができます。

## ログイン認証サーバ機能 (VR-L140 ログイン認証設定ソフト)

通話録音装置 VR-L140 シリーズを対象としたオペレータを管理するための機能で、次の特徴があります。

- オペレータがパソコンから本装置へログイン操作することにより、ログイン操作したパソコンと対となる通話録音装置 VR-L140 シリーズで録音した音声データに、ログイン操作したオペレータ情報を記録することができます。
- 本装置で通話録音装置 VR-L140 シリーズの音声データを収集後、オペレータ ID やオペレータ名をキーとして検索・再生ができます。
- 管理者権限にて本装置にログインすることにより、複数オペレータのログイン状況を把握することができます。
- オペレータはグループに分けて管理することができ、グループの管理者以外による通話モニターなどの操作を制限することができます。グループ数は最大 100 まで登録できます。

## 主な仕様

### ■VR-800CES

ネットワーク接続方式	通信プロトコル……………TCP/IP、HTTP、FTP、UDP インターフェース……………100BASE-TX 以上
通話録音装置登録台数……………	最大 500 台 ※通話録音サーバ VR-800VLA SV/VR-700VLA SV を含む
収集対象通話録音装置	VR-700/VR-700P……………Ver.1.4.0.9 以降 VR-464/VR-408……………Ver.3.3.3.0 以降 VR-448PRI……………Ver.1.1.5.0 以降 VR-432BRI……………Ver.1.1.3.0 以降 VR-508A……………Ver.1.04 以降 VR-508H……………Ver.1.00 以降 VR-504BRI……………Ver.1.00 以降 VR-700VLA SV……………Ver.1.1.0.0 以降 VR-800VoIP/VR-750/VR-760/VR-710/VR-720/VR-L140/VR-MP100 シリーズ、 VR-900UX、VR-800VLA SV については初期バージョンから
通話録音装置グループ分け……………	最大 5 グループ
電話番号登録数……………	最大 6000 件
電話番号グループ登録数……………	最大 300 グループ
セキュリティユーザー登録数……………	最大 500 人
アラーム通報	メール通報……………通報先 5 か所 クライアント通報……………通報先 10 か所

## ■Webブラウザ

対応ブラウザ	Internet Explorer 11 (※1) (※2) (※3) (※4) (※5)
検索・再生	同時ログイン数……………500 ユーザーまで
	検索方法……………日時指定、発着情報指定など
	再生方法……………リピート再生、送受話分離再生など
	※送受話分離再生はステレオ録音された音声データが対象
再生装置	クライアントパソコンのスピーカー

※1 使用するアドオン:Windows Media Player 12以降。

※2 「互換表示」機能を使用します。

※3 Windows 8.1 におけるInternet Explorer 11 については、デスクトップアプリ版のみ対応しています。

※4 Windows RT / Windows RT 8.1は対象外。

※5 対応する OS と Internet Explorer の組み合わせ。

オペレーティングシステム	利用可能な Internet Explorer
Windows 10 日本語版	Internet Explorer 11
Windows 8.1 日本語版	
Windows 7 SP1 日本語版	

## ■VR-LS800CES

OS	Windows 10 Home/Pro/Enterprise 日本語版 Windows 8.1 (無印)/Pro/Enterprise 日本語版 Windows 7 Ultimate/Professional/Home Premium SP1 日本語版
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリ	OS が推奨する環境以上
ハードディスクドライブ	2G 以上の空き容量
ドライブ	CD-ROM または DVD-ROMドライブ (インストール時に必要) RDXドライブ (バックアップメディアの再生時に必要)
ディスプレイ	解像度 1024 × 768 ドット以上、画面の色 High Color(16bit)以上
入力デバイス	キーボードおよびマウス、またはこれらと互換の入力デバイス
ネットワーク	100BASE-TX 以上のネットワークアダプタ (TCP/IP で LAN、WAN 接続ができること)
サウンド	音声の再生機能があること

## ■ログイン認証サーバ

ユーザー登録数	オペレータ(通話者) … 合計で最大 999 人 管理者 …………… 合計で最大 999 人
マスター	1 人
オペレータグループ数	最大 100 グループ



通話録音装置 VR-L140 シリーズ登録台数……………最大 500 台

■システム構成

- 本体(RAID5) ……………HP ML350 G9 E5-2609 v3 1.90GHz 1P/6C 8GB メモリホットプラグ  
(765819-291)
- 物理メモリ……………HP 8GB 1Rx4 PC4-2133P-R メモリキット (726718-B21)
- DVD-ROMドライブ……………HP 9.5mm SATA DVD-ROMドライブ(Gen9 モデル) (726536-B21)
- キーボード・マウス……………HP USB 日本語版キーボード/マウスキット (631360-B21)
- 内蔵ディスクコントローラ用オプション……………HP Smart アレイ P440ar/2GB FBWC コントローラ (726736-B21)
- ハードディスクドライブ……………HP 600GB 15krpm SC 3.5 型 12G SAS ハードディスクドライブ  
(765424-B21) 数量:5
- 追加メディアケージ……………HP LFF(3.5 型)メディアケージ (726561-B21)
- バックアップドライブ……………HP RDX500 USB3.0 ディスクバックアップシステム(内蔵型) (B7B64A)
- ラックオプション……………HP ラックコンバージョンキット(5U) (726567-B21)
- 無停電電源装置……………HP UPS R1500 G4 (J2R05A)
- オペレーティングシステム……………Windows Server 2012 R2 for Embedded Systems Standard  
(5CAL 付属)
- データベース管理システム……………Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition for Embedded Systems  
(5CAL 付属)

■ドライブ構成

ディスク 0 1,660GB RAID 5	(C:) 60GB (611,440MB)	(D:) 300GB (307,200MB)	(E:) 300GB (307,200MB)
	(F:) 1,406GB (1,439,744MB)		
ディスク 1 RDX ドライブ	(Z:)		
CD-ROM 0 DVD-ROMドライブ	(Q:)		

※各ドライブのディスク容量は最小必要容量を表します。

■VR-800CES 13RR 本体

引用元 : HP ProLiant ML350 Generation 9 システム構成図 2015 年 12 月 10 日版

- 電源……………100-120V (50/60Hz)
- 消費電力……………最大358W
- 定格入力電流……………3.58A
- 寸法……………464(幅) × 769(奥行) × 219(高さ) mm
- 質量……………最大55kg

#### ■無停電電源装置 UPS R1500 G4

引用元：HP 1U UPS ユーザーガイド 2014 年 11 月 17 日版

電源	100V (50/60Hz)
出力	1200VA/900W
入力プラグ形状	NEMA 5-15P
寸法	437(幅) × 554(奥行) × 43(高さ) mm
質量	20.0kg

#### ■外付け RDX ドライブ RDX-D USB HP500 (オプション品)

引用元：HP RDX リムーバブル編 システム構成図 2015 年 12 月 10 日版

電源	100V (50/60Hz)
消費電力	最大20W
入力プラグ形状	NEMA 5-15P
寸法	110(幅) × 178(奥行) × 52(高さ) mm
質量	540g

※USB ケーブルのケーブル長が約 60cm と短いいため、設置場所にご注意下さい。

## 添付品

取扱説明書 (VR-800CES用)	1冊
LAN再生ソフトVR-LS800CES (CD)	1枚 (5クライアント)
取扱説明書 (VR-LS800CES用)	1式
VR-L140 ログイン認証設定ソフト (CD)	1枚
RDX カートリッジ	1個
ユーザー登録カード	1枚
Windows Server 2012 R2 for Embedded Systems Standard 使用許諾書	一式
Microsoft SQL Server 2012 Standard Edition for Embedded Systems 使用許諾書	一式

※商品名は、各社の商標または登録商標です。